

多賀城市



社協だより

2023.10

No.71

社会福祉法人 多賀城市社会福祉協議会 〒985-0873 多賀城市中央二丁目1番1号 ☎368-6300



民生委員・児童委員の皆さんと一緒に
食料品を配布しました

※関連記事は2Pにあります。

社会福祉協議会とは？

住民一人ひとりの「地域で安心していきいきと暮したい」という願いを実現するために、町内会や福祉団体、ボランティアの協力をいただきながら、福祉のまちづくりに取り組んでいる団体です。

食料品の配布をしました

民生委員・児童委員に
食料品の袋詰めや、窓口での配布に
ご協力いただきました。

新型コロナウイルスが5類になり、宮城県的生活支援物資配布が終了したため、県内の社協や団体に物資の提供がありました。多賀城市社会福祉協議会では、笠神地区にあるNPO法人いのちのパンと一緒に宮城県より提供をいただいた食料品を市内のひとり親家庭に配布しました。

『こんなにたくさんありがとうございます』や『とても助かります』などの声が聞かれました



こんなにたくさん
ありがとうございます



(配布した食料品の一例)



(いのちのパンが提供を受けた食料品搬入の様子)

キャップハンディ体験

市内の学校などを訪問し、車椅子や白杖の体験を通して福祉について理解を深めてもらうことを目的に実施しています。今回は、天真小学校4学年に車椅子や白杖を使ったキャップハンディ体験を行いました。当日は、多賀城市ボランティア連絡会にお手伝いいただきました。



車椅子で介助する側、される側の両方を体験してもらいました。お互いの信頼関係の大切さや、少しの段差でも大変なことを学びました。



アイマスクをして、一人で白杖を頼りに障害物をよけて目的地まで歩いた後、二人一組で誘導する側、される側も体験しました。



ひとり暮らし老人給食サービス事業



今回のお弁当は、鶴ヶ谷地区にある“レインボー多賀城”のお弁当をお届けしました。



お弁当の他にレトルト品などもお届けしました。今回も、理研食品株さんから“わかめスープ”を提供いただきました。

コロナ禍で会食型の事業が実施できない中、安否確認を兼ねて年4回ご自宅へお弁当を届ける配食型事業を実施しています。6月に今年度1回目をお届けしました。



フードドライブ事業

社協ではフードドライブ事業を行っています。集まった物品は、市内の子ども食堂や生活困窮者の支援をしている組織やNPO等を通して、支援を必要としている世帯にお届けされます。これからお願いいたします。



フードドライブでは、以下のものを募集しています。

食料品：米、麺類、インスタント食品、缶詰、お菓子など
調味料：味噌、醤油、砂糖、塩、ふりかけ、お茶漬けなど
生活用品：ティッシュ、洗剤、トイレトペーパー
飲み物：コーヒー、お茶、ジュースなど

*賞味期限が記載され、期限まで1ヶ月以上あるもの
*未開封の物
*要冷蔵・冷凍の品は保存が出来ないため、ご遠慮ください



社協のロビー以外にもJA仙台多賀城支店様のご協力によりフードドライブ用のボックスが設置してあります。

ふれあいまちづくり事業

今年で25年目を迎える地域づくりをお手伝いするための多賀城市社会福祉協議会の助成金事業です。毎年市民の皆さまからご協力をいただいている社協会費や赤い羽根共同募金の配分金を財源にして、市内各地の様々な団体に助成金を出して、地域づくりの活動を応援しています。令和4年度は、茶話会などのサロン活動や、健康体操教室、スポーツ活動、子供食堂など36団体に助成しました。その中から2つの団体を紹介します。

八幡下二地区

下二お茶っこ会

新型コロナウイルス感染症流行の影響で休止していましたが、以前の参加者から『みんなで集まりたい』との声が上がリ、令和4年7月の中央地域包括支援センターの出張サロンを経て、同年10月から再開しました。



多賀モリ体操で身体をほぐしてから、出前講座や折り紙などをして、そのままおしゃべりに移ります。この日のテーマは日本手ぬぐいで、掃除や畑仕事で重宝する被り物からマスク、鍋掴みやティッシュボックス包みの折り方、夏や冬に首に巻いて涼や暖を取る活用法、災害時に役立つ怪我の応急処置の仕方などたくさんの活用の仕方を学びました。



東田中南地区

エンジョイ倶楽部



るなど対策をして開催を続けています。

この日のテーマは、クリスマス会。前半は自治会の法人会員になっているサンリツ楽器多賀城センター講師のエレクトーン演奏、後半はコーラスグループ“ローズマリー”による合唱を皆さん楽しんでいました。

ロジュマンのコミュニティセンターで65歳以上の方を対象に開催しています。お茶飲みと一緒に健康麻雀や合唱をしたり、講話を聴いたり、体操をしたりしています。新型コロナウイルス感染症の影響でお茶飲みをやめたり、一時開催を休止したりすることもありましたが、空気清浄機を導入す





多賀城市 シニアクラブ 連合会

「ペタンク大会」、「グラウンドゴルフ大会」、「シニアスポーツ大会」を開催しました。みなさん、他地区の友人たちとの交流を楽しんでいました。

各地区でもスポーツ

やサークル活動などいろいろな活動をしています。みなさんも一緒に活動してみませんか？

問合せ先：シニアクラブ連合会事務局

☎ 368-6300

シニアスポーツ大会



グラウンドゴルフ大会



無料

シニア演芸まつり 開催のお知らせ

令和5年 10月12日(木)

午前10時開始／正午終了予定

場所▶多賀城市文化センター大ホール

4年振りの開催となる“シニア演芸まつり”です。
皆様誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

多賀城市ボランティア連絡会

福祉施設の清掃や社協のキャップハンディ体験を始め、学校や児童館の行事、地域の団体の活動のお手伝いなど、様々な活動をしています。ボランティアをしたい方、一緒に活動しませんか？

問合せ先：ボランティア連絡会事務局 ☎ 368-6300

鶴ヶ谷児童館で“子育て支援・任意団体いくさぼ”が企画実施した、小学生、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんの3世代で多賀城の歴史や文化、まつりや遊びなどを学んだり、高齢者が子供に昔遊びを教えたり

する世代間交流のイベント「3世代で楽しむ手作り季節カードゲーム」に参加しました。



徐々に広がりを見せる卓球バレーのお手伝いができるように会員で体験会を行いました。皆さん夢中になってプレーしました。



会費御礼

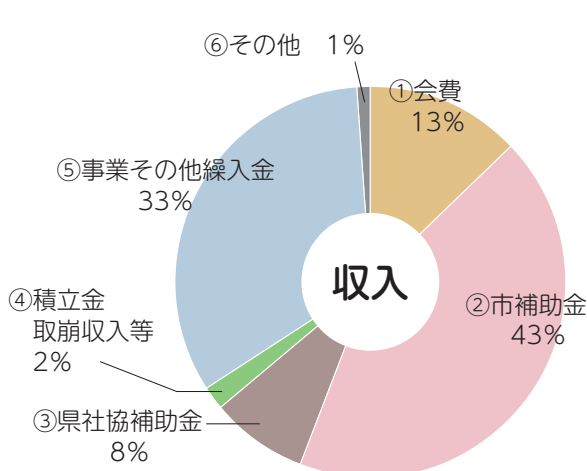
令和4年度の社協会費は多賀城市47行政区の市民の皆さまから7,409,200円を頂きました。また、特別賛助会員様から2,100,000円の会費を頂き、合計9,509,200円の会費を頂きました。皆さまのご協力に心より感謝を申し上げます。頂きました会費は、多賀城市の皆さまの生活や福祉のために利用させて頂きました。

今後とも多賀城市社会福祉協議会へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

多賀城市社会福祉協議会 会長 柴田 十一夫

※令和5年度多賀城市社会福祉協議会会費のチラシにおいて、令和4年度に各地区からご協力いただきました会費総額を誤って7,408,700円と記載したことについて訂正とお詫びを申し上げます。

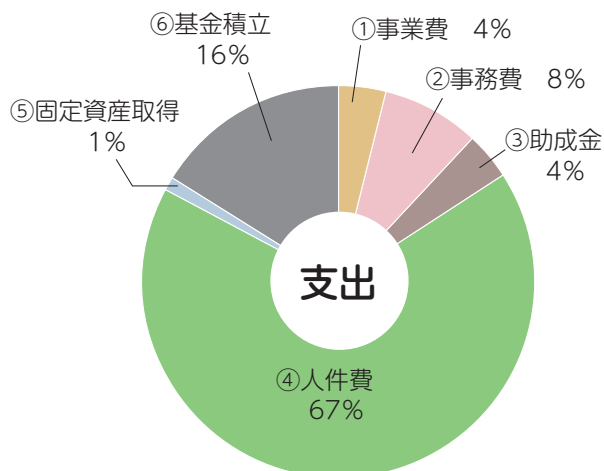
令和4年度 法人運営事業収支



令和4年度 収入項目

(単位：円)

項目	金額
①会費 (一般7,409,200 特別2,100,000)	9,509,200
②市補助金	32,152,350
③県社協補助金	5,861,782
④積立金取崩収入等	1,602,955
⑤事業その他繰入金	24,323,213
⑥その他	609,602
合 計	74,059,102



令和4年度 支出項目

(単位：円)

項目	金額
①事業費	2,992,054
②事務費	5,684,736
③助成金 福祉団体助成金 1,688,050 ふれあいまちづくり事業助成金 1,365,000	3,053,050
④人件費	48,412,870
⑤固定資産取得	443,300
⑥基金積立	11,514,091
合 計	72,100,101

令和4年度 社協全体決算

令和4年度 収入項目

(単位：円)

項目	金額
①社会福祉センター	80,647,593
②福祉工房のぞみ園・ホーム桜木	118,394,175
③シルバーヘルスプラザ	38,880,627
④中央地域包括支援センター	40,817,436
合 計	278,739,831

令和4年度 支出項目

(単位：円)

項目	金額
①社会福祉センター	100,585,592
②福祉工房のぞみ園・ホーム桜木	117,259,861
③シルバーヘルスプラザ	23,966,554
④中央地域包括支援センター	35,394,349
合 計	277,206,356

※社会福祉センターには、法人運営・共同募金・生活安定資金貸付・まもりーぶ・居宅介護の事業が含まれます。
※貸借対照表については多賀城市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。



共同募金運動へのご協力をお願い

今年も10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。昨年度は、「赤い羽根募金」「歳末たすけあい募金」の共同募金運動に市民の皆さまをはじめ、施設・企業様から多くの募金を頂き、福祉の向上に大きな成果を挙げておりますことに心から感謝を申し上げます。昨年同様、今年も「赤い羽根募金」「歳末たすけあい募金」への皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

「赤い羽根募金」「歳末たすけあい募金」実績報告



令和4年度赤い羽根募金総額

6,422,369円

内訳 戸別募金：6,285,750円
職域募金：90,232円
その他の募金：46,387円

令和4年度歳末たすけあい募金総額

3,827,850円

内訳 戸別募金：3,677,850円
篤志募金：150,000円
(戸別募金以外の施設・団体様から)

令和3年度赤い羽根募金配分事業

※赤い羽根募金は募金が翌年度の事業に利用されます。

【住民支え合い活動助成事業(ボラサポ2)配分】

団体名	配分内容	配分総額
認知症カフェ なかつがいカフェ、ひだまりカフェ、スマイルノルディックウォーキング多賀城、八幡上二区町内会	東日本大震災の被災地支援のため、全国の方々からの募金をもとに、住民同士の支え合い活動の支援を目的とした助成金配分	190,000円

【地域福祉事業 配分】

団体名	配分内容	配分総額
多賀城市社会福祉協議会	多賀城市社会福祉協議会が実施する、地域福祉活動事業(ふれあいまちづくり事業、福祉機器購入、社会福祉団体への助成、社協だよりの発行など)に配分	2,194,122円

令和4年度歳末たすけあい配分事業

配分先(使いみち)	配分総額	配分内容
生活困窮世帯(501世帯)	2,352,720円	個別対象者への配分のほか、子どもから高齢者まで幅広い分野に対して、地域での交流を深める事業や、地域の実情や課題解消につながるような活動に取り組みせるよう配分されました。
福祉施設・子ども食堂 (4障害者施設・2保育施設・3子ども食堂)	270,000円	
社会福祉事業	1,155,411円	
配分事務費	49,719円	
合 計	3,827,850円	

むすび丸ピンバッジ 募金のお知らせ

今年もむすび丸ピンバッジ募金を行います。シリーズ第11弾となる今回は、多発する自然災害への防災整備のための助成プロジェクトに利用されます。

皆さまのご協力をお願いいたします。



価格 500円

11月1日より多賀城市社会福祉協議会1階事務局にて販売いたします。

災害義援金

大規模災害の被災地への支援や復興のための災害義援金を共同募金会を通じて被災地へお届けします。

昨年度 義援金実績

- 令和4年3月福島県沖地震災害義援金 5,332円

皆さまのご協力ありがとうございました。

ご寄付ありがとうございました

令和5年3月4日～令和5年8月31日

★匿名様

★匿名様

★こまくさ美容室様

★佐藤 敏男様

★多賀城市役所走友会様

合計 316,767円

物品寄付

★宮城県退職公務員連盟

多賀城市支部様

★匿名様

手作り雑巾50枚
米60キロ

★宮城県共同募金会様

トヨタ シエンタ1台

のぞみ園へ

★草刈建設株式会社様

不織布マスク 1,730枚
ウェットティッシュ 12ケース

5月24日に、宮城県共同募金会から車両の寄贈をいただきました。赤い羽根募金を原資とした、東日本大震災被災地の社協への車両配分事業により多賀城市社協には、トヨタ自動車のシエンタを寄贈いただきました。市内の巡回や社協の各種事業に活用させていただきます。



多賀城市中央地域
包括支援センター

多賀城市から業務委託を受けて運営している中央包括支援センターでは、市内の中央部の17行政区にお住いの高齢者の方への総合的な相談・支援以外に、地域のサロン活動のサポートもしています。『新しくお茶飲みの集りを始めたいけど、何をどうしたら良いか分からない』『新型コロナの影響でサロンを休止していて、そろそろ再開したいけど、自分達だけでは不安』などと感じていませんか？中央地域包括支援センターでは、地域で出張サロン開催や、サロン立ち上げのお手伝いをしていますので、お気軽にご相談ください。

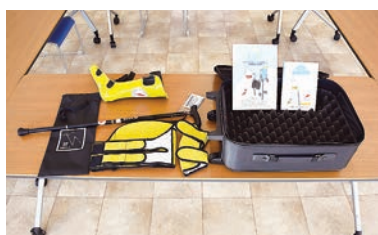
7月に八幡上二地区の
サロン開催の
お手伝いをしました。



福祉機器
貸出事業

歩行困難な方、体験学習等で利用される方に無料で貸し出しています。数に限りがございますので、事前に社会福祉協議会にご相談ください。貸し出し期間は最長1ヶ月です。

ノーパンクタイヤで
軽い車椅子が増えました



詳しい内容・申込、
お問い合わせ

多賀城市社会福祉協議会

(社会福祉センター内)

TEL 368-6300 まで
FAX 368-7300 まで

<http://tagajo-shakyo.jp/>

本広報紙は宮城県共同募金会からの配分金で作成しております。



環境に配慮し再生紙を
使用しています

